

ズバリ聞きます!

6月議会・10人が一般質問



杉村 幸敏議員

和水町に於ける、活性化事業への取り組みについて

(1) 口マン館裏に子ども遊び場として江田川に釣り堀りの考え方。

(2) 民家村に四季折々の花を植え、観光客の集客を考えるはどうか。

(3) 民家村の遊具施設の計画はないのか。

(4) 観光客相手のみやげ品店を造り活性化を図つてはどうか。

(5) 企業誘致についての考えは。

答 河川には、漁業権、

県との調整等非常に厳しい関

門があります。県内に於ては

高森町の漁協で実施されてい

ます自然、生態体験と学習面

に於て、非常に良い面があり

ますので、今後の課題として承っておきます。

花の件については、今後白石ゼキの整備を進めているのを考えて行きます。遊具施設

については、民家村は、自然公園ですので管理費のいらぬ安全で自然的な環境で遊べる施設を考えています。万世の都運営委員会、白石地区の河川利用推進協議会等いろいろな意見を聞き又、他の事例を参考にして取り組んで参ります。企業誘致については、充分認識しております。雇用の確保・地域の活性化になると思っています。県の企業立地課との情報交換も進めており工業用地の適地の選定をしながら、企業誘致に取り組んで行きります。

和水町に於ける県道の改良について

(1) 旧菊水・江田四ツ角交差点

点の交通渋滞がひどく、

4年後には、新幹線が開通するので、交差点の改

良が望まれるが町長としての考えは。

(2) 老朽化している内藤橋の架け替え状況は現在どのようになつてあるか。

(3) 菊水線の道路改良についての考えは。

答 (1) 江田の交差点の今



菊水・江田四ツ角交差点

日の状況は、御指摘のように、大変渋滞しているのが事実です。今後新幹線開通を見据えて、県の方へも積極的に働きかけて行きます。内藤橋の件につきましては、玉名振興局土木課との話が進んでおり、近いうちに地元説明会がある予定です。和仁一菊水線の道路改修の件ですが大田黒の第二衛生センター入口から江栗の三叉路までの950mにわたり、今年より測量に入る予定です。地権者の同意・用地買収工事着手と言いう形で進めて参ります。

ふれあいの森開発構想について

(1) ふれあいの森は、三加和園、墓地付き等の開発の考え方。

(2) 宅地造成(温泉、家庭菜園、墓地付き等)の開発の考え方。

(3) 民間資金を導入した、宅地造成等の考え方。

答 ふれあいの森については三加和町に於いて、基本計画が策定されています。里山の再生による都市との交流、環境、学習の場として整備する事が策定されていますが、財政的に整備事業は、困難な状況です。現在県立大学、富士電気グループと地域住民の共同によって里山保全活動が実施されています。

温泉、家庭菜園、墓地付き宅地造成の件については、ふれあいの森の全体の半分が文化財の埋蔵地となっています。特に南側の傾斜には文化財関係が関わっていますので慎重に検討していきます。ふれあいの森以外にも宅地造成に取り組んでいきます。民間資金の導入の件については、できるだけ、民間の力を借りながらいろいろな方法があると思いますので、そうした事を模範にして住宅施策に関しては今後取り組んでいきます。

答 入してあるが、開発構想の考え方。

(2) 宅地造成(温泉、家庭菜園、墓地付き等)の開発の考え方。

(3) 民間資金を導入した、宅地造成等の考え方。



古閑 修一議員

企業誘致について

問 町民の要望に応えるべく新しい企業の立地に向け、本腰を入れて行政として最大限の努力が望まれる所であるが、南関町に於ては、企業の立地に際し、種々の優遇処置を講じている。本町に於ても、このような事を打ち出し公表し、企業に対するアピールも必要ではないか。

答 南関工業団地については、民間と県が先頭に立ち取り組んだ事業であり本町に於ては、農村地域工業法に基づき今までパナソニック、東洋電装など4つの企業導入実績があるが、今後、他町の実績取り組みを精査しながら、前向きに努力する。

問 和水町農村地域工業導入促進審議会のメンバーと内容を伺う。

答 条例により議会議員、農業委員他15名とされている。具体的に企業立地の話がある時の審議会であるが、本来な

らば、前もってそのような取り組みも必要ではないかと思う。今後、企画課のほうで指導を踏まえ取り組む。

問 今後、内田工業団地そのものに対する考え方を伺う。

答 地形、そして現状に於て非常に厳しい。企業にとても即、活用できるような土地ではなく、大変ありがたくない今日の財産であるが、まずは取付け道路だけは進めながら、今後工業団地の取扱いに関しては、検討していきたい。

定住促進について

問 少子高齢、過疎化対策として、団塊の世代の町内移住促進や、特に若者の定住促進を計る為にも、雇用の場の確保と並行して、今後更に住宅整備、分譲宅地の整備が必要ではと考えるが、町の計画なりを考えを伺う。

答 今後実施を計画している住宅需要調査の結果を見ながら検討していきたい。



定住促進対策団地『久井原分譲住宅』

問 農業問題について

答 機械の共同利用による

問 集落営農組織の推進を今後どのように考えるか伺う。

答 昨年から上久井原、焼米、日平、岩地区に於て、各々20万円のソフト事業に取り組んでいる。今後、そういうモデル地区を作りながら、しっかりと支援をしていきたい。

問 遊休農地に対する施策として中山間直接支払い制度なり、農地、水、環境保全対策事業があるが今後の対応について伺う。

答 そういういた事業を進める一方で、今後、町総合整備計画の中で、ソフト的な面も含め取り組んでいきたい。

問 防災の点から公共治山事業について現況を伺う。

答 本年、予防治山のほうで県に5ヶ所の申請をしてその内2地区の採択がなされた。

行政推進について

又、ヨシについては抜根の形で対処していく。

問 防災の点から公共治山事業について現況を伺う。

答 本年、予防治山のほうで県に5ヶ所の申請をしてその内2地区の採択がなされた。

自然災害について

問 災害対策について考え方を伺う。

答 每年、菊池川合同巡視を行い、現場の確認と情報交換をしている。又、区長さんから危険箇所の一覧を提出してもらい、現状の把握に努めている。防災については、昨年から自主防災組織の中で、日常の点検と現場の把握に努めている。

問 行革推進について

答 合併協で決定された退職者の1/3を採用することを基本としながら、職員の世代間に大きな隙間が出ないよう採用を考えていく。

問 新規職員の採用に対する考え方を伺う。

答 適切な異動サイクル、又事務改善委員会の検討を踏まえて行った。

問 今回の職員の異動はどのような効果をねらつたものか伺う。

答 今回の中の職員の異動は、やはり公募すべきではなかつたかと思う。その事を申し上げ質問を終ります。

問 空家の状況と対策について伺う。

答 6、7年前の調査で計165であったが、現在の管理状況を把握する為にも、実態調査をしていきたい。

問 河川の異常な土砂の堆積に対する対応について伺う。

答 限られた予算の範囲内ではあるが、掘削の形でやる。

問 職員の本採用について採用した。

答 即戦力、経験を考えて採用した。

問 職員の本採用については、なぜ公募をしなかつたのか、又臨時職員で対応できなかつたか伺う。

答 今回の保健師の本採用については、なぜ公募をしなかつたのか、又臨時職員で対応できなかつたか伺う。